

二〇〇八年四月三日（京都宇治）

廻らぬもありて水子の風車	けんいち
鳳凰堂へ反橋渡る春日傘	〃
たうたうと宇治の流れや夏兆す	ひかり
桜薬積む山門の鬼瓦	〃
琴坂のせせらぎの音に春惜しむ	宏 虎
琴坂へうち重なりし若楓	粲
高欄へ日の斑を散らす若楓	菜 々
宇治川の白波かすめつばめ飛ぶ	きづな

吟行句会みの選

二〇〇八年四月三日（京都宇治）